

週報2023年1月29日

■教会標語聖句

望みを抱いて喜び、患難に耐え、
絶えず祈りに励みなさい。

ローマ人への手紙12章12節



シオン教会信仰指針
「祈りに励む教会」

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
北九州シオン教会

牧師: 山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395 (FAX...4396)

牧師携帯 090-6737-5276



礼拝順序 2022年1月29日

ピアノ: 赤松姉 オルガン: 力丸勝子師

司会: 畑中姉 献身の祈り: 小城兄 メッセージ: 山崎師

開会の祈り		司会者
信仰告白	使徒信条・標語聖句唱和	
賛美	新聖歌 222「罪の深みに」	
祈禱	* 今日までのめぐみに感謝し、新たな献身を祈りましょう! *	
賛美	新聖歌 209「悲しみ深き」	
献身の祈り		
賛美	新聖歌 270「歌えど尽きせぬ主の誉れ」	
賛美	新聖歌 291「神の国と神の義」	
聖書箇所	ヤコブの手紙 1章 5節	
説教	「知恵の欠けた人」	
祈禱	「応答の祈り」	
頌栄	「主の祈り」	
祈禱		山崎師

交わりの三省

- * 互いに愛し合っていますか
- * 互いに赦し合っていますか
- * 互いに祈り合っていますか

説教要約

ヤコブの手紙1章5節 「知恵の欠けた人」

いつも通っている接骨院の先生が、「人生に壁なんて存在しない。あるのは階段だけだ。」と言う話をしてくださいました。その先生は、全て障壁とを感じるような問題や試練は自分を成長させてくれる人生の糧だと言いました。そして、「私は問題に直面した時ワクワクします。だって、この事を通じて、又自分が成長させてもらえるチャンスを得たから」と言いました。

私がこの話を通じて学んだ事があります。それは物事の視点を変える事の重要性です。例えば問題は自分を苦しめる物、困らせる物と考えます。そうすると人生の障害物となり、飛び越えたり、壊したり、潜ったりしようとして、やがて疲れ果てて行きます。

接骨院の先生の話を肯定した瞬間、自分の中の問題に対する意識が変わりました。「そうだ、問題は壁ではない、自分を成長させてくれるチャンスであり、友達だ！そしてその問題と言う友達と二人三脚で階段を上り、成長して行こう！」ちょっと発言を美化しすぎ(笑)ですが、そうすると、実際、壁のように感じていた問題が見えなくなり、なんだかワクワクする体験をしました。問題に失望する事を止め、自分という可能性に期待をし、周囲の人や環境に頼るようになったからです。ヤコブ書のテーマは「(主によって与えられる)知恵による信仰の成長(成熟)」です。

ヤコブ書の“知恵の欠けた人”、この言葉がキーワードです。つまり、著者ヤコブは知恵の重要性を説いています。例え、欠けのある者でも、主によって頂いた知恵によって、欠けた所が補完され、完全な者へと成長を遂げると言っています。では、ヤコブ書の言う、“完全な者”＝“欠けの無い者”とはどういう人でしょうか？

ヤコブ書を読むと、“えこひいきしない事”“自分の舌を制御する事”“行いを持って兄弟を愛する事”“主の為に忍耐を尽くす事”

そして“祈りという信頼を主に向け続ける事”を勧めています。ヤコブの強調点は例え問題や試練があったとしても、御言葉に対する信頼を通じて、人は成長し、増々人間性を豊かにしていくと言う事です。それが知恵ある者、欠けの無い者の姿です。

つまり、御言葉に勝る人生の知恵はないと言う事です。人間性を豊かにし、自分の成長を実感する事は楽しみであり喜びです。しかしそれが“何の為か”を教えてくれる人は誰もいません。私達が成長するのは主の願い(御心)に答える為です。主の願いとは神と人との平和をいつまでも保つ事です。これがヤコブ書の示すゴール＝欠けの無い姿です。

言い換えると、ヤコブ書の問題提起(質問)は一体知恵はどこから来るのか？ということです。そして答えをヤコブはしっかり書いています。「すべての完全な賜物は上から来る～」(ヤコブ書1:17)信仰者の分岐点は問題が起こった時、知恵を自分から生み出すのか、上から求めるのかで分かれて行きます。ヤコブ書は言います、**知恵の欠けた人は惜しみなくとがめなく与える神に求めなさい、と。**

「土の器」と言う賛美に、“欠けだらけの私”と言う歌詞が出て来ます。しかし、その欠けから光がこぼれ輝くとあります。人生の中で問題や試練に耐えきれない時、ヒビや欠けが生じます。しかし私達自身が修復する必要は一切ありません。陶器師なる主に委ねれば良いのです。もう一度書かせて下さい。知恵は主から与えられます。変わらない愛と共に。

人生に壁は存在しません。障害物もありません。それは自分が作り出しているものです。良い信仰者は良い視点を持っている人の事です。しかしその視点はいわゆる、センスや才能ではありません。そうだとすると、信仰はセンスや才能に左右される事になります。

つまり、良い視点を主から与えて頂く、主の視点を持つと言う事です。それがヤコブ書の言う知恵の事です。今日の要約は人生の問題や試練は信仰を成長させるチャンスだと言う事です。主がその為の階段を備え、主が手を引かれます。私達がすべき事はただ主を信じる事です